

## 2. 調査方法

- (1) 調査内容から16項の調査項目を設け、それらについて、質問紙による方法で調査した。
- (2) なお、調査上教授組織の形態を次の3つに分けて用い、それによって回答を求めた。
- ・〈1学級複数教師による担当〉
  - ・〈合併学級複数教師による担当〉
  - ・〈当該学級担任外教師による担当〉
- その学級を担任している教師以外の教師による担当で、上記の複数、合併を除いたすべての場合である。(交換、奉仕、専科などが該当する。)
- (3) 計画的、継続的に実施されている場合で、一時的、臨時的な場合を除いた。また、時間割表記載の教科・道徳・特活を対象にしたが、クラブ活動は除外して回答を求めた。

## Ⅲ 調査結果の概要

### 1. 形態の限定

調査結果の集計・考察に用いる教授組織の形態は、これまでの複数授業、合併授業、専科的授業、交換授業、奉仕授業の教授形態を原則としながら、第Ⅱ表の「新担当形態」によることとした。

現に組織され、展開されている教授組織の形態は、各学校の教員組織、学級数、施設設備等の条件から、1種の形態だけでなく、数種の形態が複合している場合が多い。したがって、観点や解釈の相違によっておこる集計上の困乱をさけるため、本調査の結果や考察で使用する教授組織の形態、名称、区分は第Ⅱ表によった。

第Ⅱ表 教授組織の形態

形態と概念(紀要第2号)	担当者		条件		担当教科		形態細分	新担当形態
	学級担任	学担任外	交換	奉仕	学級毎異教科	数学級同教科		
〈専科的授業〉 専科教員のみならず、学級担任外教師がある特定の教科をもつばら担当する授業とする。		○		○		○	専科 I	学級担任外専科的担当
		○		○	○		専科 II	
〈交換授業〉 同学年学級間または、近接学年内で相互に得意教科を交換して行う授業であるが、3以上の学級間で交換し合う場合もある。	○		○		○		交換 I	交換担当
	○		○			○	交換 II	
〈奉仕授業〉 他の学級または、学年より奉仕的に教えに来てもらうが、学級担任はその学級に教えにいかない場合の授業をいう。	○			○		○	奉仕 I	学級担任専科的担当
	○			○	○		奉仕 II	
〈複数授業〉 1学級2名以上の教師で、同時同内容を行なう授業をいう。							複数	1学級複数教師担当
〈合併授業〉 2学級以上、または近接2学年を併わせ同時同内容を行う授業をいうが、2学級3教師、3学級4教師などの場合もある。							合併	合併学級複数教師担当
新形態について								
※ いずれの学級をも担任していない教員を <u>学級担任外教師</u> いずれかの学級を担任している教員を <u>学級担任</u> 特定学級の担当者をさす場合は <u>当該学級担任</u>								
※ 数学級同教科……数学級とは、自己学級以外2学級以上。 ※ 交換は3学級間以内。								